

## レポート作成用ルーブリック

評価の観点	評価の基準			
	4	3	2	1
テーマ把握・内容理解	テーマを把握しており、内容についても十分理解できている。	テーマ把握及び内容理解について、概ねできている。	テーマ把握及び内容理解について、工夫の余地がある。	テーマを把握しておらず、内容の理解も不十分である。
論理構成・考察力	レポートが論理的に、わかりやすく展開されている。自分なりの視点をもち、課題を考察しており、独創性の芽が感じられる。	レポートが論理的に、わかりやすく展開されており、課題の考察ができている。	論理的な記述及び考察について、工夫の余地がある。	レポートが論理的に展開されておらず、自分なりの考察もできていない。
表現・文字の正確さ	誤字・脱字がなく、文章の体裁が整えられている。適切な専門用語を用いている。	誤字・脱字がほとんどなく、文章の体裁が整えられている。	誤字・脱字が散見され、文章の体裁についても工夫の余地がある。	誤字・脱字が多く、文章の体裁が整えられていない。
レファレンス資料（文献・公開情報等）明示	レファレンス資料の選択が的確であり、過不足なく参照できている。	レファレンス資料の選択が妥当で、参照できている。	レファレンス資料を示そうとしているが、引用方法や長さに工夫の余地がある。	レファレンス資料が用いられているにもかかわらず、明示されていない。